品店技人

―ファイル10―

プロフィール

柏谷（かしわや）　榮三郎（えいざぶろう）

昭和11年7月26日　横手市生まれ

趣味：旅行・スポーツ（ゴルフ以外なんでも）

株式会社
カシワヤ楽器
横手市寿町8-17
TEL.32-2130 FAX.33-6195
【創　　業】明治9年
【定 休 日】月曜日（本店）
【取 扱 品】
音楽CD・DVD・楽器

少し前に教育テレビを見ていたら、『おやじバンド』の講座をやっていました。「もしかして、今ブームなの?」と思い、確かめるべく楽器を扱っている当所常議員の「(株)カシワヤ楽器」さんを訪問。社長さんの熱い話満載です!

お店の入口横にはこれから行われるコンサートのポスターが掲示されており、一階にある店内にはたくさんのCDが展示されておりました。

社長さんにお会いするため、スタッフ一同四階の事務室にお邪魔いたしました。

（事務室にもCDがたくさん!）

おはようございます。

今日はよろしくお願いします。

早速ですが、創業はいつ頃でしょうか。

明治九年に柏谷商店として創業したようです。終戦まではキリンビールの特約店として卸売業を営んでいて、酒や缶詰類の卸売と小売を主としてやっておりました。その他に当時はガソリンスタンドも経営していました。

えーそうなんですか。知りませんでした。

祖父がもともと音楽好きな人で、道楽で昭和七年に柏谷商店蓄音器部を創業したのが現在の「カシワヤ楽器店」のルーツです。

趣味が高じて商売に結びつくなんて羨ましいことですね。

このことを知っている人は今は少ないと思いますよ。終戦とともにビールや酒、缶詰の卸売業はやめてしまったんですが、蓄音器部だけは残し現在に至ります。現在は横手市と秋田市、それに岩手の奥州市に六店舗程あります。

音楽関係の専門店としてお店を営業されてからの歴史もかなり古いと思いますが、今までになにかお客様とのエピソード等ありましたら、お聞かせ願えますか。

色々ありますよ。あれは当社が六十周年を迎えた年で、今から十四年ほど前の事でした。店の郵便受けに名前のない「投げ文」が一通あったんです。その方がまだ兵隊に行く前に、柏谷商店蓄音器部から毎月出るレコードの新譜を楽しみにしていたようです。その歌を懸命に覚えようとした時の事を思い出し、当社の六十周年をお知らせした折込チラシを目にし、感無量になりペンを取ったということでした。当時の新譜案内も一緒に同封されてあったんですよ。

手紙には、「当時の暗い世相の中において歌は至上の楽しみであり、どんなに慰めになり励ましになったことか。」と書かれてありました。

いつの時代も音楽は人の心を癒し、思い出を作ってくれるんですね。懐かしい曲を聴くとその時代の出来事がつい昨日のことのように思い出されたりして…。

「投げ文」に同封されていた年代物の歌詞カード

そうなんです。私はこの手紙を読んで涙が出てきました。手紙の差出人にお礼が言いたくて探したんですが、お会いすることが出来ずとても残念でした。今でもその方の「心の大事な宝物」である歌詞カードは大切に保管してあります。

世の中全体も貧しい時代だったでしょうから、なおさら音楽は心の安らぎになったんでしょうね。

今回一番聞きたいところなんですが、最近「夢をもう一度」ということで、中年層の間でエレキバンドがはやっているそうですが、カシワヤ楽器さんにもそのようなお客様はいらっしゃいますか。

はい。特別増えたわけではありませんが、自分でバンドをやっている六十歳前後の方ですが、継続して買ってくれている人はいますね。

そうですか。エレキといえば、寺内タケシのコンサートを続けてやられていた時期がありましたよね。何か深い訳でもあったんでしょうか。社長さんがエレキの大ファンとか…。

いえいえ。私はエレキがあまり好きではなかったのですが、従業員に「今流行っているから呼べないでしょうか」と言われ、それがきっかけで呼ぶようになったんです。私自身は曲自体嫌いではないのですが、なぜあんなに大きい音を出さなければならないのか分からなくて…。

▲品揃が豊富!!イオンスーパーセンター横手南店2Fの店舗

えっ!（いきなりの全否定で戸惑うスタッフでしたが…。）

時代はベンチャーズが全盛の時、ある中学生が一度買った寺内タケシのコンサートチケットを戻しにきたんですよ。聞いてみると、学校で「エレキは非行に走る」ということで、コンサートに行くことが禁止になったというんです。それを聞いた私は、その学校に行って説明をし、先生方全員に招待券を配ったんですが、来てくれませんでした。それを寺内タケシに話したところ、寺内も「それは間違っている。分かってもらえるまで続けましょうよ、社長!」ということで長く続けたんです。

そうでしたか。確かにエレキの音はパワーがありますよね。それが必ず非行に結びつくとは思わないんですけど…。

時代だったんでしょうね。

でもその後、当時の平鹿高校で寺内タケシがコンサートをしたことがあって、その時いきなりステージに呼ばれ何か喋ってくれと言われました。「楽器に良いも悪いもない。ナイフだって医者が使うと病気を治すし、強盗が使うと犯罪になる。要は扱う人の心次第である。」という様なことを話したんです。もちろんコンサートは大盛況でしたよ。

うーん。とても良いお話ですね。（一同感動!）

そしてつい最近、ある県南の高校の校長先生から「うちの高校に寺内タケシを呼んでくれないか」と依頼を受けたんです。よくよく聞いてみたら、「以前平鹿高校でコンサートをやったとき、自分は教諭としてそこに勤務しており、その時のコンサートがすごく印象深かったので、是非教師生活最後の記念に、生徒たちの思い出に残ることをしたい。」というものでした。

それで引き受けられたんですか。

もちろんですよ。うれしくて二つ返事で引き受けました。

自分が良かれと思ってしたことが、他の人に受け入れられるとすごくうれしいんです。

歌もそうです。自分がCDを聞いて良いと思ったものは他の人にも聞いて欲しいと思うんです。それで作ったのが、なつメロ愛好会です。一番心に残っているのは、平成七年に開催した「浪漫街道」というコンサートです。自分の幼い頃の思い出話を交えながら、自ら司会を務めたんですが、それがお客さんに大変好評で…。

きっと聞きに来たお客様も自分の幼い頃にタイムスリップして、色々なことを思いだしたんでしょうね。

そうだと思います。お客様が音楽を聴くことによって、幸せな気持ちになってくれることが一番うれしいです。

今まで色々なことを試みていらっしゃいますが、今後何か計画されていることはありますか。

あっ、そうそうこの人…。（と言って、一枚のCDを出してこられました。）

この人、まだ三十代の女性で戦争を知らないんだけれども、特攻隊で亡くなっていった人達のことを書いた本を読んで感動し、戦争の歌を作りCDを出したんです。その話にまた感動してしまって、応援したくて呼んでしまいました。（笑い）

7月にコンサートがあるんですよ。

社長さんにとって音楽は仕事だけではなく、人生においてなくてはならないものですね。

音楽は我が心のロマンです!

そう言った社長さんの顔はとても輝いておられました。

これからも音楽に情熱を注ぎ続けてください。

▲懐かしい写真を説明しながら心はその時代にタイムスリップ♡（たくさんの新人歌手と並んで撮った写真）